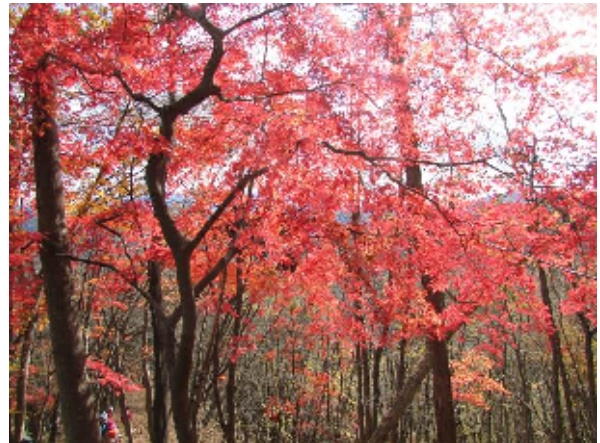


## 高田山山行報告

**【山行日】**2018年 11月 10日(土) 晴れ  
**【集 合】**岩舟支所P AM 6:00  
**【費 用】**マイカー1台 : 2,300円  
**【メンバー】** CL:鈴木、安西、伊藤、岡、大西、島田、関口、竹田、並木、福田々、渡辺  
**【コースタイム】**岩舟支所 P6:00=駒岩集会所  
P8:00/8:20~鳥居 9:00~獅子井戸の水場 9:30  
~石尊山 10:10/10:20~高田山 10:55/11:05~  
石尊山 11:40~尾根 12:00/12:30~駒岩集会所  
P13:30/13:40=道の駅「こもち」14:20/14:40=  
岩舟支所P16:00



11月初旬にカエデの自然林の紅葉がとても美しい、石尊山から高田山を計画した。  
関越道渋川伊香保ICで降り、国道17号線から国道353号線を四万温泉に向かって進む。



四万湖を過ぎた先から左に旧道へ入り、駒岩集会所の駐車場に車を止めるがすでに満車だった。若い女性が車を止めたばかりで、少し寄せてもらいなんとか1台は止められた。もう1台は集会所への道路の路肩に止めて出発の準備をする。ストレッチを済ませて出発し、階段を登って道路を横切り石材店脇の登山者ノートに記入する。地元のお母さんが待っていて、「先月滑落事故があったので、気を付けて登るように」と指導を受け出発する。広い林業用の道路を進むが、分

岐には標識が立ち迷わず歩けるようになっていた。スギの植林帯の道を九十九折れにししばらく登り、途中のカーブから右に山道に入り勾配がきつくなる。スギの植林帯を抜け、自然林になると明るくなり御影石の鳥居に出る。ここからは傾斜が少し緩くなり、大きく九十九折れに登る道になりカエデの紅葉が見られるようになる。大きなカエデの木が陽射しを受けて、真っ赤に染まり皆「綺麗～～」と歓声が上がる。

ここから石尊山まではカエデの紅葉が見頃で、皆さん美しい紅葉を楽しみながら嬉しそう。

石尊山手前の尾根の紅葉が見事で、夢中でカメラに収めていた。ここから急坂を登るようになり、大きな岩塊を乗り越え登りつめると石尊山山頂に着く。山頂には石祠が祀られ、展望も素晴らしく南に榛名山、北側には白砂山から稲包山の上越国境の山々が望める。休憩してリンゴや菓子を食べて、ながら、ゆっくり展望を楽しみ記念写真を撮ったら高田山に向かう。



石尊山から高田山までは、露岩のヤセ尾根が続き、木の根や岩に掴まりながら急登と急降下を繰



り返す。朝お母さんたちが注意した、滑落事故があった場所なので慎重に歩き、時間は掛かったが無事高田山山頂に着いた。

1等三角点補点がある山頂は広く平らで、日当たりが良くとても暖かい。ただ、木やカヤトが茂り展望が得られないのが残念だ。ヤセ尾根の急登急降下に少し疲れたようで、ナシやミカンを食べゆっくり休憩を取る。疲れが取れたら石尊山まで来た道に戻るが、帰りは慣れたようで順調に歩けた。

石尊山から紅葉が綺麗な尾根まで下り、平らな場

所を選んでランチタイムとする。本日の山ご飯は、岩手名物の「ひつつみ汁」にした。鶏ベースの出汁に野菜や鶏肉を入れ、「ひつつみ」というすいとん

のような小麦粉の団子を入れる。真っ赤な紅葉の下で食べるランチは美味しく、皆さんも出汁が美味しいと食べてくれた。午後の陽射しを受けた紅葉は、登って来た時よりさらに美しく皆感動して見入っていた。紅葉を楽しみながらの下りは楽しく、アツと言う間に鳥居まで下る。最後の休憩を取り、カキや菓子を食べてから樹林帯の道を下って行く。林業用の作業道に出て、緩やかに下ると駒岩集落に出て駒岩集会所に着いた。靴を履き替えたら帰路につき、途中道の駅「こもち」で野菜やお土産を買い、予定より早く岩舟支所に帰着した。



知る人ぞ知るマイナーな山だが、紅葉の時期に登ると大満足の山である。

